

京丹波町和知地区第1回連絡会議

(京都府船井郡京丹波町和知地区連絡会議)

担い手への
農地利用の
集積・集約化

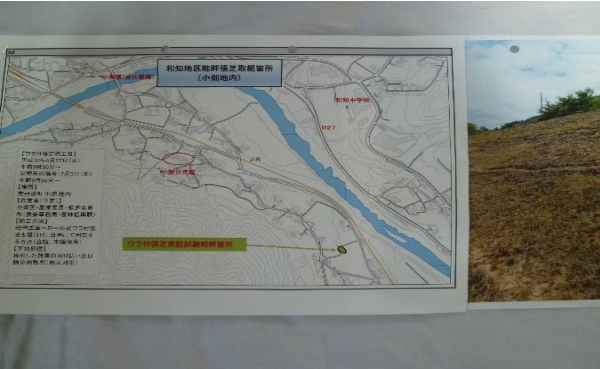
遊休農地の
発生防止・
解消

新規参入の
促進

その他
(農業委員会の
体制強化等)

1 活動の日時や時期、場所等

○ 日時(時期):	平成30年6月22日(金)
○ 場 所:	和知道の駅「和」
○ 出 席 者:	農業委員4人、最適化推進委員6人 京丹波町 農林振興課長 農業委員会事務局2名
○ 報 告 者:	塩 貝 農業会議現地推進役



2 地区の特徴、状況、課題

- 旧和知町に属し殆ど農地は中山間に位置する
- 田舎暮らしなど移住の条件は整っており和知地域全体が移住促進特別区域の指定を受けている

3 課題解決に向けた活動(農地利用の最適化推進の取組と工夫)

- 農業振興地域農用地であっても、荒廃している農地が多くある、農用地にしておけば開発などの影響を受けにくいなどの安直な概念があった
- 平成31年農業振興地域の見直しがあるが一括非農用地とするのも課題がある
- 京丹波町は65ha余りが中間管理事業による集積、配分と聞くと集積の段階でマッチングがされていることによるもので、別のところでは遊休、荒廃が進んできている農地がありそうした農地が放置されている
- 中山間故に農地ののり面は大きく、雑草管理に多くの労力、京丹波では初めてのグランドカバープランツの取り組みを行う(6月27日和知小畑地域)

4 活動結果

○ 情報・意見交換	1.5 時間
○ 担い手への集積	a 増加
○ 遊休農地面積	a 解消
○ 新規就農者	人 支援